

2020年10月8日
凸版印刷株式会社

凸版印刷 印刷博物館 P&P ギャラリーで 「現代日本のパッケージ 2020」展 開催

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨秀晴、以下 凸版印刷)が運営する、印刷博物館 P&P ギャラリーでは、10月10日(土)より「現代日本のパッケージ 2020」展を開催します。

生活のなかで身近な印刷物の代表であるパッケージは、社会と強く結びつきながら、日々試行が繰り返され、デザインや機能が進化を遂げています。例えば、あらゆる人が使いやすいユニバーサルデザイン、地球環境に優しいエコロジーなど、一般にも馴染みのある社会的テーマはパッケージ制作の課題とも重なっています。6回目となる本展では、こうした時代のニーズや今後想定される解決すべき課題に対し、パッケージの現場で重ねられた取り組みの成果を知る機会の一つとして、日本で開催されている大規模なパッケージコンクールの受賞作を中心にご紹介します。

本展は、消費者が直接手にするものから普段はあまり目にする事のない輸送包装など、展示された様々な種類のパッケージを通じて、身近な存在でありながら、普段はなかなか深く知る機会の少ないパッケージの面白さに触れていただける機会です。

【展示内容】 ※展示作品には触れられません

・**第59回ジャパンパッケージングコンペティション** 46点の受賞作品

主催:一般社団法人日本印刷産業連合会

市場で販売されている商品化されたコマーシャルパッケージの優秀性を競う商品包装コンペティションです。

・**2020 日本パッケージングコンテスト(第42回)** 47点

主催:公益社団法人日本包装技術協会

材料、設計、技術、適正包装、環境対応、デザイン、輸送包装、ロジスティクス、販売促進、アイデアなどあらゆる機能から見て年間の優秀作品を選定するコンテストです。ジャパンスター賞 12賞をはじめ、6つの包装技術賞、13の包装部門賞があります。

※受賞作品すべての展示ではありません。印刷博物館ではこのうちのジャパンスター賞と包装技術賞の一部を紹介します。

・**JPDA パッケージデザイン・インデックス Our Best Works**

〈特集:ロングセラーのパッケージデザイン〉 22点の作品

主催:公益社団法人日本パッケージデザイン協会

2020年、公益社団法人日本パッケージデザイン協会は設立60周年を記念してはじめてのベストワーク集を出版いたしました。ここに収録された中から、本展ではみなさんがよくご存じの「ロングセラー商品のパッケージデザイン」に焦点を当てて展示します。

【開催概要】

会 期:2020年10月10日(土)~12月6日(日)

会 場:印刷博物館 P&P ギャラリー 入場無料

開館時間:10:00~18:00 ※入場はオンラインによる事前予約(日時指定券)制です

休 館 日:毎週月曜日(11月23日は開館)、11月24日(火)

共 催:凸版印刷株式会社 印刷博物館、一般社団法人日本印刷産業連合会、
公益社団法人日本パッケージデザイン協会、公益社団法人日本包装技術協会

住 所:〒112-8531 東京都文京区水道1丁目3番3号 トップラン小石川ビル

電話:03-5840-2300(代表)

WEB: <https://www.printing-museum.org/exhibition/pp/201010/>

※感染予防のために中止もしくは延期となる可能性があります。

なお、開館する場合でも入場制限の措置を講じさせていただきます。

*印刷博物館は凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨秀晴)が創立100周年を記念し、2000年に設立した公共文化施設です。

<画像/キャプション>

1 チラシ画像



2 <コスメデコルテ AQ クリーム アブソリュート X > 株式会社コーセー 第59回ジャパンパッケージングコンペティション 経済産業大臣賞



3 <アタック ZERO ワンハンドタイプ> 花王株式会社 第59回ジャパンパッケージングコンペティション 経済産業大臣賞



* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以上